

# 『2型糖尿病性患者における10年間の腎機能低下速度に関する因子の解析』

## に対するご協力のお願い

研究の目的と意義	当院の糖尿病・内分泌内科に10年以上通院中の2型糖尿病の患者さんの中で推計糸球体濾過量（eGFR）が60 ml/分/1.73m <sup>2</sup> 以上の腎機能が正常な方を対象にして10年間のeGFR低下速度を検討しました。さらにeGFR低下に関する臨床因子を解析し、腎機能低下と動脈硬化や脂肪肝との関係についても検討しました。 たとえ腎機能が正常であっても、10年間で徐々に腎機能低下がみられる事から、腎機能を点でとらえず、経年的な低下速度（線）でとらえることが重要と考えて研究をしています。
研究の方法	対象となる患者さんの診療情報から研究に必要になる項目を抽出して解析をします。
対象者	2015年1月1日～2024年12月31日の間に、糖尿病・内分泌内科に10年以上通院中の2型糖尿病の患者さんの中で推計糸球体濾過量（eGFR）が60 ml/分/1.73m <sup>2</sup> 以上の腎機能が正常な方
利用する試料/情報	<p>①10年間のeGFR年間低下速度 低下slopeは最小二乗法、eGFR年間低下は10年間のeGFRの差。変化率は10年前と10年後の変化率を用いた</p> <p>②動脈硬化指標 頸動脈内膜中膜複合体肥厚度（IMT）と足関節-上肢血圧比（ABI）、上肢一下肢脈波伝播速度（baPWV）</p> <p>③腹部超音波検査による脂肪肝の有無</p> <p>④臨床指標 性別、年齢、罹病期間、糖尿病治療方法、喫煙歴、血圧、体重、身長、BMI、高血圧の有無</p> <p>⑤検査指標 HbA1c、肝酵素、尿アルブミン</p>
利用する試料/情報の取得方法	診療で得られた診療録等
利用する試料/情報の管理責任者・住所	済生会横浜市東部病院 院長 〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1
研究組織	当院単独研究
試料/情報の院外提供	該当なし
結果公表	第69回日本糖尿病学会年次総会で報告予定です。
研究参加拒否・同意撤回	情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合または一度研究参加に同意された後に同意を撤回される場合は、西暦2026年4月30日までに下記の問い合わせ先にご連絡ください。
当院研究責任者	済生会横浜市東部病院 総合診療科/専門部長/比嘉 真理子 〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1 電話045-576-3000(代表)
問い合わせ先	済生会横浜市東部病院 総合診療科/比嘉 真理子